

## 2 接続語をつかむ

(P8~11)

### 確認問題

- ① (1) オ (2) イ (3) カ (4) ウ  
(5) エ (6) キ (7) ア

### 《解説》

- (1) 雨がふってきたから、運動会は中止になったので、前後は順接の関係になっています。
- (2) 雨がふってきたのに、運動会は続けられたということ、後半は前半の内容から予想される内容とは逆になっていることをおさえます。
- (3) 雨と風という気象に関係のあるものが二つ重ねて述べられている点に着目します。
- (4) 二つの内容を並べて、どちらかを選ばせようという意図があることをおさえます。
- (5) 後の部分が前の文の理由説明になっていることをおさえます。
- (6) 後の内容が前の文の内容を補足限定している点をおさえます。
- (7) 前後で話の内容がつながっていないことをおさえます。
- ② (1) だから(それで・したがって)  
(2) ところで

### 《解説》

- (1) 前の文が原因、後の文が結果という関係になっていることをおさえて考えます。順接の関係を表す接続語であればよいわけです。
- (2) 前後の話の内容がつながっていない(転換している)ことか

### 練習問題

ら、話題の転換の接続語を入れることになります。

- ① (1) ① ア (2) イ

- (2) (第二段落)とところで、よく笑(第三段落)とところで、動物は

### 《解説》

(1) ① 前の「よく笑う人」ほど「ふっくらとした頬ほおをしている人が多い」という部分を、後で「よく笑う人こそ、シワが少ない」といっているから、「つまり」が入ります。

(2) ② ア 話題の転換をあらわす「とところで」に着目しましょう。

- ② (1) ① ウ (2) ア

(2) (例)文化がちがえば、くらしにとって何が重要な意味をもつかや、どういう意味をもつかがちがってくるから。

- (3) 環境  
(4) 世界観  
(5) だから地図

### 《解説》

- (2) 本文中の「文化」が、「生活の仕方、ものの考え方」を指していることばであることをおさえます。
- (4) 本文中に「世界のとらえ方、つまり世界観」とあるところに着目します。

# 7 心情・性格をつかむ 1

(P 28～31)

## 確認問題

- (1) (例) 少年の存在をわすれてしまったように見えた
- (2) (例) 我にかえり、けがをした少年をいたわらなければならぬと気づいたから。
- (3) (例) 子どもに対してやさしい心を持っている人。

## 《解説》

(1) 少年がけがをしたのに、叔父さんは水の中にふき出る「紅い煙」のような血に心をうばわれています。そんな叔父さんの様子を見て、少年は「恐いようなかなしいような気持ちに」なったのです。

(2) 少年のさげぶ声をきくまでは、「紅い煙」のような血にみとれていて、「そろ。きれいだろ」と少年がけがをしていることをまったくわすれてしまっているような状態になっていることをまずおさえましょう。少年の声をきっかけに、はつと我にかえった叔父さんは、不安がっている少年を安心させ、手当てしなければと考え始めています。それが「やさしい顔」になった理由と考えられます。

(3) 叔父さんは世間や外界とはすこしきよりをおいて、自分の世界に住んでいる人であるらしいことが本文から読み取れます。ただ、少年にいろいろなことを教えてくれたり、少年をハゼ釣りに連れていたりしていることから、少年に対するやさしさも持ち合わせていることがわかります。叔父さんのこの二つの側面をおさえておきましょう。

## 練習問題

- (1) (例) 内心では妻の死を認めていなかったから。

- (2) ウ
- (3) (例) ママは生きていて、雪が降る日に戻ってくるという嘘。
- (4) ウ
- (5) (例) 雪が降ってもママが戻ってこない
- (6) イ

## 《解説》

(1) 「妻のことを死んだと認めることができなかった」シドが、演奏中に、かつて妻がいた辺りを見ていたのは、そこに妻の姿を求めたからです。また妻の椅子を片づけるのは、妻がもはやいないという事実をシドにつきつけるものなので、彼にはどうも受け入れられないことなのです。「頭の中ではく認識できなかった」とあることに着目しましょう。

(3) (5) アルに対して母親の死を伝えなかったことに着目します。シドは「ママは生きている」、「雪が降る日」にママが戻ってくると言ってしまう。それが嘘だとわかったアルが傷つくことをおそれたシドは、アルを連れて南へと演奏旅行を続けることになりました。

(4) 自分のついた嘘を信じきっているアルの、歓喜に満ちた目を直視できないシドの気持ちを読み取ります。

(6) シドは、住み慣れた都会を離れなければならぬほど周りの人たちとトラブルを起こしたり、母親のことでアルに嘘をついたりしています。けれどもそれらはすべて最愛の妻を失った悲しみからきているのです。妻の死という現実を受けとめきれずに苦しんでいるのは、シドが妻を心から愛していたためです。そのいちずでもろい心を読み取りましょう。